

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和 8 年 7 月 1 7 日（金）午前 1 0 時から

会 場：アオーレ長岡 東棟 4 階 大会議室

【 会見項目 1：8 月 1 日は「長岡市恒久平和の日」

平和への想いを次の世代へ伝えていきます 】

〈市長〉

長岡まつりまであと 2 週間となりました。関係者による準備は着実に進められており、本日は長岡まつり関連の会見項目についてご説明いたします。

まず 1 項目目は、「恒久平和の日」関連行事についてです。長岡まつりは、8 月 1 日の長岡空襲で犠牲になられた方々の慰霊と復興への願いを原点としております。今年も恒久平和の日にちなんだ行事を開催し、長岡空襲の記憶を風化させることなく、後世や次の世代へしっかりと伝えていきたいと考えています。

長岡市平和祈念式典は、平成 27 年から現在の名称となり、今年で 12 回目を迎えます。式典では、黙とうや長岡空襲に関する講話、非核平和都市宣言の朗読などを行います。

式典に続いて、ミライエ長岡でながおか平和フォーラムを開催します。広島中学生派遣事業の結団式のほか、東京大空襲体験伝承者の安斎陽子さんによる講演を実施します。また、長岡市平和祈念式典と広島中学生派遣事業結団式は長岡市公式 YouTube チャンネルで生配信し、ケーブルテレビでも放送予定です。

鎮魂たむけの花は昨年同様に実施します。5 月 29 日にリニューアルオープンした長岡戦災資料館でも各種事業を予定しており、7 月 12 日現在の来館者数は 4,600 人となっています。

8 月 1 日には、長岡戦災資料館とアオーレ長岡に献花台を設置し、献花と祈りを通じて殉難者の皆様へ思いを寄せていただきたいと考えています。また、戦災資料館では長岡空襲の証言記録映像を終日上映するほか、中学生が作成した平和標語やポスターを展示します。

このほか、市主催以外にも、7 月 31 日の平和の森コンサートをはじめ、多くの平和関連行事が予定されています。資料に記載しておりますので、ご案内申し上げます。

〈幹事社〉

献花についてですが、アオーレ長岡 1 階ホワイエと長岡戦災資料館の 2 か所で実施されますが、市長はどちらに行かれるのでしょうか。

〈市長〉

両方に伺います。

〈記者〉

長岡戦災資料館で上映する長岡空襲証言映像について、これまで何人分の証言を収録しているのでしょうか。

〈長岡戦災資料館長〉

昨年度末までに、おおむね 45 人分の証言映像を収録しています。個人の証言映像のほかにも、長岡高校同窓生や当時の看護師などによる証言映像があり、いずれも当館が収集・撮影した貴重な資料です。

〈記者〉

平和祈念式典で長岡空襲について講話される遠藤好子さんは、空襲当時、生後 4 日だったとのことですが、今回お話しいただくことになった経緯を教えてください。

〈長岡戦災資料館長〉

これまでは、ご自身が空襲を体験し記憶されている方にお話しいただくことが多かったのですが、戦後 81 年が経過し、体験者の高齢化が進む中で、直接お話を伺うことが難しくなってきています。

遠藤さんは空襲当時、生後間もない赤ちゃんでしたが、お母様やお兄様から当時の体験を聞いて育ち、その記憶を次の世代に伝えたいという強い思いで活動されています。現在は資料館ボランティアとして、学校や各種行事で語り部活動を行っています。

私たちとしても、今後はこうした体験を受け継いだ方々にも積極的に語っていただきながら、平和への思いを次の世代へ伝える新たな継承の形につなげていきたいと考えています。

【 会見項目 2：慰霊と復興、平和への願いを込めて

令和 8 年「長岡まつり」を開催します】

〈市長〉

今年も長岡まつりを開催いたします。今年は市制施行 120 周年であり、新しい総合計画のスタートの年でもあります。各主催団体においても新たな趣向を凝らしながら、まつり全体を盛り上げようという機運が高まっています。

8 月 1 日の平和祭では、市制施行 120 周年を記念した歌唱や市民参加型ダンスを実施しま

す。民踊流しには 44 団体、約 3,200 人の踊り手が参加し、長岡甚句や大花火音頭でまつりを盛り上げます。最後は神輿渡御で締めくくります。

8 月 2 日は観光ふれあい広場を開催し、中越エリアの観光情報を発信します。また、2 日・3 日の両日は、にぎわいのある市で飲食や土産品の販売を行います。

8 月 3 日の昼行事「わんぱくおまつり広場」では、歩行者天国やステージイベントを実施します。アオーレ長岡のアリーナでは、お笑いライブやダンスなどを楽しんでもいただけます。

それでは、各団体から事業の PR をお願いいたします。

〈長岡商工会議所〉

平和祭のメインは民踊流しと神輿渡御ですが、毎年少しずつ工夫を加えています。中澤卓也さんによる市制施行 120 周年記念歌唱を実施するほか、初めて越路のお祭り屋台からも参加いただきます。オール長岡で平和祭を盛り上げようという趣旨で実現しました。

市民参加型ダンスは 300 人規模を目標に募集しており、「恋するフォーチュンクッキー」や「マツケンサンバⅡ」などを披露する予定です。さらに、長岡出身の BMX 世界的選手である早川起生選手を中心としたレッドブル・ストリートジャムも開催しますので、ぜひお楽しみいただきたいと思います。

〈長岡観光コンベンション協会〉

中越地域および近隣市町村など計 22 団体が参加し、主に県外から来訪される方へ観光 PR を行います。パンフレットやノベルティの配布、ゆるキャライベント、体験コーナーなどを実施します。

また、本日公開となった映画「君と花火と約束と」の PR コーナーも設置します。さらに、2 日・3 日の両日はマルシェで土産品や物産品の販売も行います。

〈大手通商店街〉

例年、お笑いライブを開催しておりますが、今年は「とにかく明るい安村」さんにご出演いただきます。また、浅草で活躍する「東京力車」の皆さんによるステージや人力車体験も予定しております。新たな企画としてお楽しみいただければと思います。

〈市長〉

続いて、8 月 2 日・3 日の大花火大会についてご説明いたします。

以前の長岡花火は自由観覧が中心で、合併前の長岡地域の夏の風物詩として親しまれてきました。しかし、全国的な花火事故を契機に、安全管理や責任体制を抜本的に見直す必要が生じました。

そのため、警備体制を専門事業者へ委託し、有料観覧席を整備することで観覧者の集中を防ぎ、安全性の確保に努めてきました。

昔のように気軽に観覧できた時代を懐かしく思う部分もありますが、その一方で、日本全国や海外からも多くの方に長岡花火をご覧いただき、平和のメッセージを受け取っていただけは大変意義深いことだと思っています。

また、コロナ禍以降は警備費や花火玉価格の高騰により、全国では中止となる花火大会もあります。そのような中、長岡花火はスポンサーの皆様の支援と有料観覧席収入によって、安全性と持続性を確保できていると考えています。

チケット転売などの課題もありますが、一つ一つ乗り越えながら、この長岡花火を後世へ引き継いでいきたいと考えています。

それでは、具体的な内容について長岡花火財団から説明いたします。

〈長岡花火財団理事長〉

令和8年の長岡まつり大花火大会も、慰霊・復興・平和への祈りを込めて8月2日、3日の両日に開催いたします。

まずプログラムですが、大型花火を各日1台増やして40台としました。そのため、最後の米百俵花火は午後9時25分からとなります。今年は正三尺玉打ち上げ成功から100年の節目でもありますので、先人の思いも感じながらご覧いただきたいと思います。

また、長生橋の長寿命化工事で休止していたナイアガラ花火が3年ぶりに復活します。両日とも午後8時30分に正三尺玉と同時に打ち上げます。さらに、フェニックス花火は午後8時45分に時間を変更し、分散退場につなげていきます。

今年は映画「君と花火と約束と」と連携したサプライズ花火も打ち上げます。主題歌「消えない花火」に合わせた約2分間のミュージックスターマインを予定しています。

観覧席については、障害者席を両岸に整備し、福祉専門職員も配置します。また、高校生応援席には1,123人の高校生から参加いただくことになりました。長岡花火を誇りに思い、将来も戻ってこられる場所だと感じてもらえればと思っています。

安全対策では、警察や警備員、市職員、ボランティアなど延べ4,900人体制で運営します。フェニックス花火の時間変更やドローンによる案内表示なども行い、安全確保に努めます。

また、「長岡花火グッドアクションプロジェクト」を進めています。来場される皆さんがお互いを思いやり、気持ちよく楽しめるよう、世界一マナーの良い花火大会を目指します。今年は高校生ボランティアにも協力いただき、案内や分散退場の呼びかけを行います。

花火は、NHK BS やケーブルテレビ、公式YouTubeでもご覧いただけます。チケットをお持ちでない方は、安全のためご自宅などで楽しんでいただきたいと思います。

インバウンド対応では、外国人向け観覧席を両日で2,000席用意しましたが完売しました。21の国と地域から申し込みがあり、世界の皆さんにも長岡花火を知っていただきたいと思っています。

観覧チケットは両日とも完売しましたが、公式リセールサイトで再販売を行っており、7月16日時点で1万2,009枚が成立しています。不要になったチケットはぜひ公式リセールをご利用ください。

転売対策としてチケットには購入者氏名を記載しており、入場時などに確認する場合があります。NFT チケットも完売しました。転売は昨年より減っている印象ですが、まだなくなっていないので、警察とも連携しながら厳しく対応していきます。

また、オフィシャルパートナーの支援により、花火を観覧する機会の少ない子どもたちにチケットを届ける取り組みも継続しています。今年も多くの子どもたちに会場で花火を体験してもらいたいと思っています。

以上です。皆様からも周知にご協力いただきますようお願いいたします。

〈幹事社〉

先ほど市長から民踊流しに参加したいというお話がありましたが、例年、浴衣姿で参加されています。今年はいかがでしょう。

〈市長〉

毎年1年ぶりに踊るので、最初は踊りを思い出すまで少し時間がかかりますが、思い出してしまうと夢中になって楽しんでいます。今年も多くの皆さんから参加していただきたいと思います。

〈記者〉

映画「君と花火と約束と」と連携したサプライズ花火について、実施に至った経緯と狙いを教えてください。

〈長岡花火財団理事長〉

この映画は長岡を舞台に、長岡花火をテーマとして制作され、全国で公開されます。長岡市や花火財団としても非常にうれしく思っています。映画を見てから長岡花火を見る、あるいは花火を見てから映画を見ることで、より深く楽しんでもいただけるのではないかと思います。多くの方に映画を知っていただきたいという思いから、サプライズ花火として打ち上げることとしました。ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。

映画の制作側から打ち上げについてお声がけをいただき、私たちとしてもぜひ協力したいということで実施することになりました。

〈記者〉

サプライズ花火に期待することはありますか。

〈市長〉

花火そのものへの期待もありますが、公開されたばかりの映画を多くの皆さんに見ていただきたいと思っています。花火会場を訪れる皆さんにも映画館でご覧いただきたいですし、今後もさまざまな形でPRしていきたいと思っています。

〈記者〉

市長ご自身も映画をご覧になったのでしょうか。

〈市長〉

拝見しました。長岡の街並みが細かく描かれていて、長岡に住む者としてとてもうれしく感じました。また、長岡空襲の描写も非常にリアルで、史実が自然に伝わってくる作品だと思いました。さらに、長岡花火が人と人とを結び付ける出会いの場でもあったことを改めて思い出しました。感動とともに、新しい出会いを生み出す長岡花火の魅力が描かれている作品だと感じています。

〈記者〉

チケットの高額転売について、市長から呼びかけをお願いします。

〈市長〉

高額転売は違法行為です。不正に販売されたチケットは購入しないでいただきたいと思います。また、都合により利用できなくなった場合は公式リセールを利用していただきたいと思います。転売が横行すると花火大会全体の品位にも関わりますので、不正な取引に関わらないようお願いしたいと思います。

〈記者〉

不正転売が続いている現状をどのように受け止めていますか。

〈市長〉

粘り強く対策を続けていかなければならないと思っています。一方で、それだけ長岡花火の価値が高まっていることの表れでもあります。しかし、転売はまた別の問題ですので、今後もしっかり防止策を続けていきたいと思っています。

〈長岡花火財団常務理事〉

昨年7月時点で確認した転売件数は約500件でしたが、今年は約250件で、およそ半減しています。ただし確認対象サイトが異なるため単純比較はできません。最高では、定価

3万2,000円程度の席が19万5,000円、約6倍の価格で出品されている事例を確認しています。

また、不正転売は重大な違法行為であり、悪質な事案については捜査機関と連携して厳正に対処してまいります。

〈記者〉

「長岡花火グッドアクションプロジェクト」では、どのような行動を呼びかけているのでしょうか。

〈長岡花火財団事務局長〉

これまでの「しないでください」という注意喚起を、「ごみは持ち帰りましょう」など前向きな呼びかけに変えたものです。席の譲り合いや違法駐車などの課題もありますが、来場者の皆さんに自主的な行動を促す取り組みとして展開しています。

〈記者〉

警備体制について教えてください。

〈長岡花火財団事務局長〉

全体人数は大きく変わっていませんが、警察、警備会社、消防など専門スタッフを若干増やしています。警備費については人件費高騰などで増加していますが、現段階では金額をお示しできる状況ではありません。

〈記者〉

「世界一マナーの良い花火大会」について、市長のお考えをお聞かせください。

〈市長〉

私は現実的に、長岡花火は非常にマナーの良い花火大会だと思っています。皆さんルールを守って来場されています。一部に違法駐車などの事例はありますが、それだけで全体のマナーが悪いとは思っていません。世界一マナーの良い花火大会という評価は揺るがないと思っています。一方で、駐車場の問題など個別の課題については、今後もきめ細かく対応していきたいと思っています。

〈記者〉

市制施行120周年の年に迎える長岡まつりへの思いをお願いします。

〈市長〉

今年は市制施行 120 周年であり、新しい総合計画がスタートする節目の年です。長岡まつりや花火大会が、市民の皆さんの思いを表現する場になればと思っています。また、震災資料館もリニューアルオープンしました。世界では今なお戦争が続いています。そのような中だからこそ、長岡から平和への願いを広く発信していきたいと思っています。長岡の新しいスタートにふさわしい長岡まつりになればと考えています。

【その他質問】

〈記者〉

東京電力の拠出金を活用した施策のうち、これまで電気料金補助の対象となっていなかった地域への補助について伺います。市町村には電力契約情報がないため、実務上の執行は難しいとの意見もあると承知していますが、長岡市としての考えをお聞かせください。

〈市長〉

同じ自治体の中で、給付を受けられる世帯と受けられない世帯があるという不平等感を是正するため、知事が電気料金補助を 1,000 億円の使途の中に盛り込まれたことについては歓迎したいと思っています。

ただし、給付方法については課題があります。現在は電力契約を結んでいる方の口座へ年 1 回振り込まれる仕組みとなっています。仮に長岡市が実施する場合は、誰が電力契約者なのかという情報と、振込先口座の情報が必要になります。これらの情報がなければ給付を行うことができません。

そのため、すでに必要な情報を保有している電力会社や関係機関と県が連携し、一括して給付することが合理的ではないかと考えています。

〈原子力安全対策室〉

市長が申し上げたとおり、電力会社や一般財団法人新潟県地域振興センターなどが情報を保有していますので、それらと県が協力して一括配布することが合理的であると考えています。

〈記者〉

個別配布ではなく、市が一括して受け取り福祉事業などに活用することも県のメニューにあると思いますが、長岡市としては補助金の支給を望む考えでしょうか。

〈市長〉

今回の制度は、補助を受ける世帯と受けられない世帯との不公平感を解消することが出発点です。そのため、他事業へ活用することは制度趣旨に合わず、住民の皆様の理解も得られないのではないかと考えています。

〈記者〉

県議会の委員会資料では、給付対象を旧市町村単位ではなく現市町村単位にすべきとの意見があったと承知しています。長岡市もそのような要望を出しているのでしょうか

〈市長〉

私の考えとしては、原発関連特別措置法による対象範囲の拡大も現市町村単位で行われています。将来的に電源三法の改正によってこうした給付制度が整備されることを考えれば、旧市町村単位ではなく現市町村単位で給付されるべきではないかと申し上げています。

〈記者〉

拠出金のうち 300 億円が電気料金補助に充てられる規模感について、どのように受け止めていますか。

〈市長〉

金額の大きさというよりも、補助を受けられる世帯と受けられない世帯の不公平を是正するという考え方の積み上げによって算出された結果なのではないかと考えています。

〈記者〉

県の配分案全体についてはどのように考えていますか。

〈市長〉

東京電力が 10 年間で 1,000 億円を拠出し、原発に関連する課題に活用してもらいたいというものですので、基本的には県知事の判断で進めるべきものと考えており、異論はありません。

ただし、安全対策や避難対策、地域振興などの課題は、この 1,000 億円だけで解決するものではありません。安全な避難に必要な道路整備など、本来取り組むべき課題は別にあります。私は 1,000 億円の配分そのものよりも、安全対策や避難対策を着実に進めることが重要だと考えています。

この 1,000 億円で対応できない部分については、国の支援や県の取り組みによって進めてもらいたいと考えています。

〈記者〉

電気料金補助については、拠出金による対応はあくまでも経過措置という考えでしょうか。

〈市長〉

そうです。最終的には電源三法の改正などによって、現市町村単位で必要な措置が講じられることが望ましいと考えています。今回の取り組みは、そのためのつなぎの措置だと考えています。現状では受け入れざるを得ない部分もあります。

〈記者〉

電気料金補助について、現在対象外となっている栃尾地域を含める考えについて改めてお聞かせください。

〈市長〉

先ほど申し上げたとおり、合併前の枠組みではなく、現在の市町村単位で給付されるべきだと考えています。将来的に電源三法が改正された場合も、そのような考え方になると思います。

また、今回の 1,000 億円の使途についても、可能であれば現市町村単位で配布されるべきだと考えています。

〈記者〉

現市町村単位で対象を広げると、UPZ 圏外の地域まで対象となり、新たな不公平につながるの考え方もあると思いますが、いかがでしょうか。

〈市長〉

さまざまな議論はあると思いますが、UPZ は単純に 30km 圏内の世帯だけを対象としているわけではありません。これまでも旧市町村単位で対象地域全体を対象としてきました。

そうであれば、合併後の現市町村単位で考えた場合、UPZ 圏域が含まれる自治体については市域全体を対象とする考え方も成り立ちますし、特措法の考え方もその方向ではないかと思っています。

あまり厳密に 30km 圏で区切ることが本当に適切なのかという点については、私はそうではないと考えています。